

市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア			
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」に おける安全・安心で快適な観光の振興		
事業内容	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化の実施を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	3,000	2,500	2,500	2,440
		(b) 予算現額	3,000	3,207	1,551	2,500	1,469
		(c) 増減額(b-a)	0	207	▲ 949	0	▲ 971
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	3,000	3,207	1,551	2,500	1,469
	B. 執行済額		2,568	3,098	1,551	1,040	1,469
	うち交付金充当額		2,054	2,478	1,240	832	1,175
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		85.6%	96.6%	100.0%	41.6%	100.0%
予算の状況の説明		当初、作業員の配置を4名で予定していたが2名分の予算971千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施:2,500m(10箇所)	目標	(2,500m 10箇所)	(2,500m 10箇所)	(2,500m 10箇所)	(2,500m 10箇所)	
		実績	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	
	作業員配置4名	目標	(4名)	(4名)	(4名)	(4名)	
		実績	5名	3名	2名	2名	
達成状況説明	継続的に清掃員の募集を行ったが前年同様目標より2名少ない清掃員の雇用となったが、村職員で不足分のアクセス道路及び周辺道路の美化を実施することで、観光客等の受入体制が整備できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		83%	88%	82%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興に関するアンケート検証を行った結果、82%の方から魅力的な景観形成が図られたとの回答が得られた。					

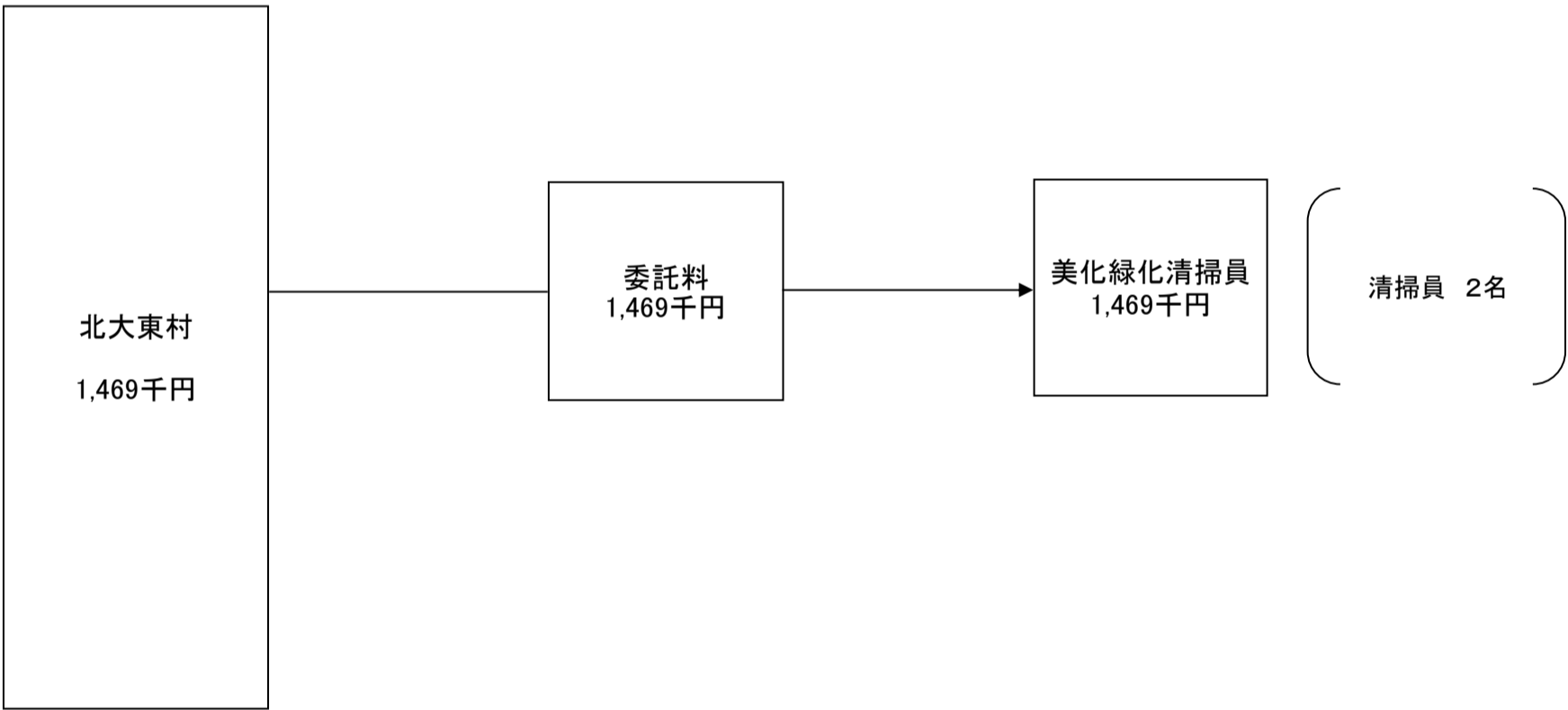
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・高齢化による清掃員不足を解消するため、柔軟な契約形態を取り入れる事で清掃員の確保に努めたが、島内のマンパワーが不足しており清掃員の確保が十分にできないことが課題となった。</p>	<p>・限られた人員で効率的な修景及び美化を行うため、重機等を活用し除草できる箇所については機械化を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

引き続き人員確保に努めるとともに、重機等を活用した方が効率の良い箇所については業者へ委託し、観光アクセスに重要な道路や周回道路の改修及び美化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金充当額	
1,469	1,469	1,175	294	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託職員については、村内求人・給料表と併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	オンライン双方向授業支援モデル事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ			
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実		
事業内容	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及び、ICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施し、児童生徒の学力向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,500	14,500	14,500	14,500	14,950
		(b) 予算現額	13,500	13,500	13,382	14,500	14,401
		(c) 増減額(b-a)	▲1,000	▲1,000	▲1,118	0	▲549
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		13,500	13,500	13,382	14,500	14,401
	B. 執行済額		12,331	12,641	13,382	13,588	9,184
	うち交付金充当額		9,865	10,112	10,705	10,870	7,346
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.3%	93.6%	100.0%	93.7%	63.8%
予算の状況の説明		他事業へ計549千円の流用を行った。 不用額の5,217千円については、県内の教員不足も相まって学習支援員の配置が7月からとなったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	学習支援員の配置:1名		目標 (1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
			実績	1名	1名	1名	
	東大生によるオンライン双方向授業:10名		目標 (10名)	(10名)	(10名)	(10名)	
		実績	16名	20名	10名	12名	
達成状況説明	きめ細やかな授業を実施する為に必要な学習支援員を目標どおり配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	令和4年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差		目標 ()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
	①小学校 県平均以上 ・5年生:算数、国語 ・6年生:算数、国語		実績	実施無し	平均以下 県 55.2% 村 45.5%	平均以上 県 60.1% 村 65.3%	
	令和4年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差		目標 ()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
	①中学校 県平均以上 ・1年生:数学、国語、英語 ・2年生:数学、国語、英語		実績	実施無し	平均以上 県 47.8% 村 52.9%	平均以上 県 48.2% 村 50.7%	
進捗状況説明	オンライン双方向授業の実施により、現役東大生の指導を通して教育環境格差の解消が図られ、児童・生徒の学習に対する習慣や姿勢が身に付いてきたことにより、沖縄県学力到達度調査における小中学校の県平均を上回っており、尚且つ高校受験において全員合格の実績を得られた。						

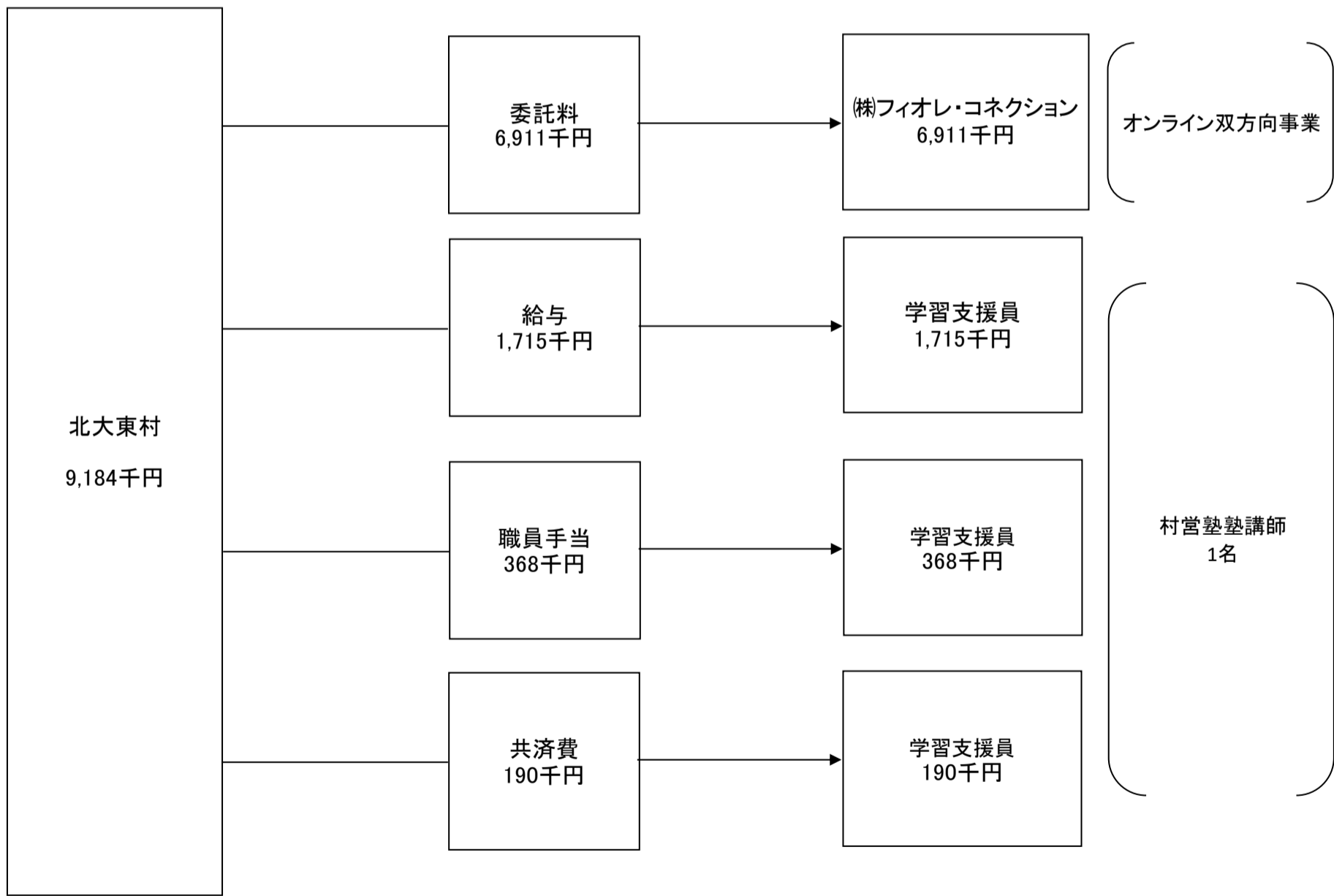
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・現役東大生の指導についてこれない児童生徒が毎年度各学年に一定数発生している。	・現役東大生の指導についてこれない児童生徒に対する個別での追加支援が必要となっており、村営塾の学習支援員を活用した個別指導による学習能力に応じた個別対応を実施している。

今後の取り組み方針

・引き続きオンライン双方向授業の講師や村営塾の学習支援員と連携を図りながら、個々の学習能力に配慮したきめ細やかな対応を行うことにより、村内児童生徒全体の学力向上に対する支援を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,184	9,184	7,346	1,838	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約による契約は妥当と考える。 ○予算規模については、県内の教員不足等の影響により4割ほどの執行残が発生した。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

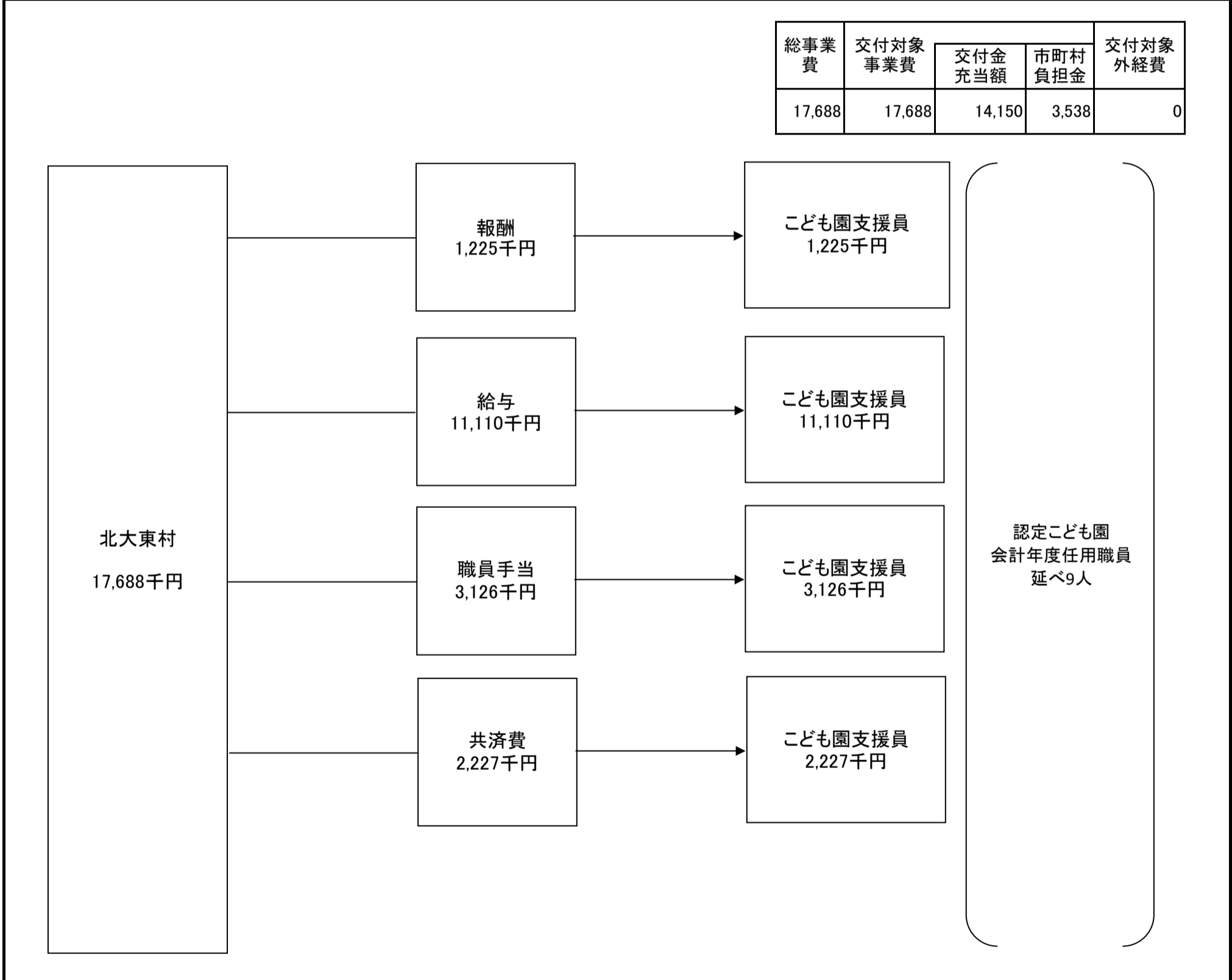
市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域の発展に寄与する 魅力ある高等教育環境の充実 Ⅲ-9		
事業内容	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,500	9,500	9,500	14,000	18,000
		(b) 予算現額	7,500	6,000	3,993	14,000	18,000
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,000	▲ 3,500	▲ 5,507	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		7,500	6,000	3,993	14,000	18,000
	B. 執行済額		7,138	5,428	3,993	12,594	17,688
	うち交付金充当額		5,710	4,342	3,194	10,075	14,150
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.2%	90.5%	100.0%	90.0%	98.3%
予算の状況の説明		支援員の体調不良等の欠勤に伴い、不用額の312千円が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	認定こども園支援員配置:6名	目標	(5名)	(5名)	(6名)	(6名)	
		実績	延べ6名	3名	延べ11名	延べ9名	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	こども園開園に伴い支援員配置6名を予定していたが、一年間継続した人員を確保することができず、延べ9名の配置となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
		対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実績		81%	100%	88%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	本事業を活用した保育事業の実施により、安心・安全に子供を預けることができた事で、保護者の育児負担感が軽減されたとの意見を88%の方から頂いた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・より良い育児環境を形成するために、預けられる対象年齢を0歳からとして考えている。対象幼児の受け入れを継続する為には、支援員の配置人数の確保が課題となっている。	・預れる対象年齢を0歳からとしたことにより、潜在的な待機児童が0になったため、引き続き対象幼児の受け入れを継続する必要がある。

今後の取り組み方針

・引き続き島内外から支援員を募集し、こども園へ支援員配置を継続的に行い、保護者の育児負担軽減に対する取組を継続していく。
 ・アンケート検証による保護者からの様々な意見等を取り入れ、より良い子育て環境の整備を継続していく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員については、村内求人・給料表に併せて適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	離島の児童生徒の交流促進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ			
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と 学習環境の充実		
事業内容	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助支援を行い、競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	3,000	4,000	4,000	3,917
		(b) 予算現額	3,000	3,715	2,103	4,000	4,092
		(c) 増減額(b-a)	0	715	▲ 1,897	0	175
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	3,000	3,715	2,103	4,000	4,092
	B. 執行済額		2,633	3,598	2,103	2,373	4,092
	うち交付金充当額		2,106	2,878	1,682	1,899	3,273
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		87.8%	96.9%	100.0%	59.3%	100.0%
予算の状況の説明		派遣件数の増に伴い、175千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	渡航助成の実施		目標 (助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
			実績	実施	実施	実施	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	スポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会、駅伝大会)による県内への移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	77%	93%	100%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響による中止などがなくなったことにより、児童生徒の頑張った成果を披露する場が増えたことによりアンケート結果が向上したと考えられる。					

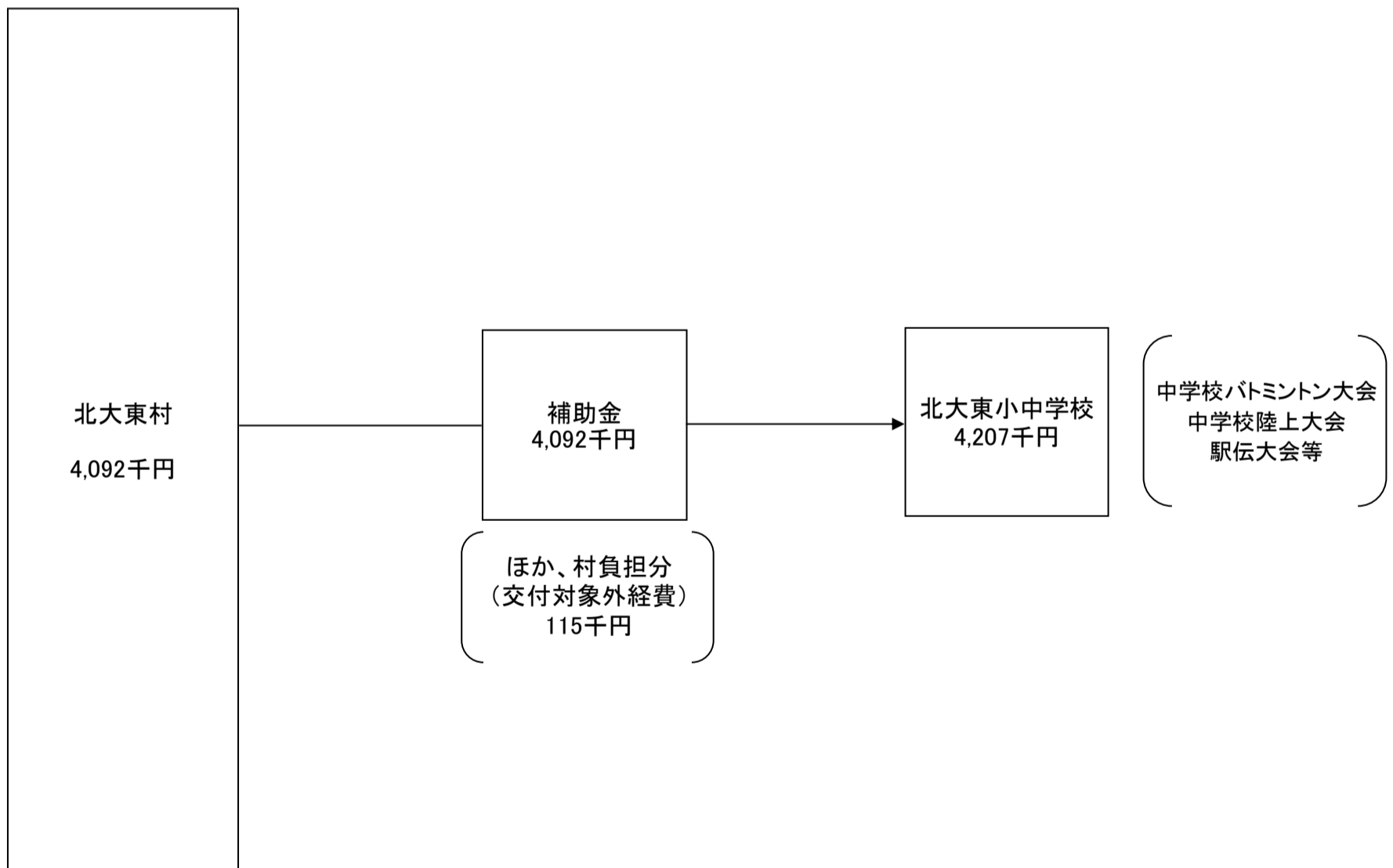
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	新型コロナウイルスの影響による大会の中止などが減少したことにより、様々な大会等に参加できる状況になったことで児童生徒により広い視野を持たせることができた。	離島であるため刺激を受ける機会が少ないことから他の大会等や練習試合等にも参加させてより広い視野を持たせたいと考えているが、学校の授業日数や島内イベント等が詰まっているため、利用に関する更なる検証が必要と考える。

今後の取り組み方針

今後更に学校や教育委員会、PTA等と話し合いを持ち大会・練習試合等にも助成を拡充していけるか検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
4,207	4,092	3,273	819	115



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先について、生徒指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であった。 ○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	離島特別医療質確保推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ウ		
担当部課名	福祉衛生課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平で良質な 医療・福祉サービスの確保		
事業内容	離島の不利益を克服し、特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部助成や、島内に専門医療従事者を招聘し健康増進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,500	3,500	3,500	3,500	3,272
		(b) 予算現額	3,500	2,288	909	3,500	3,646
		(c) 増減額(b-a)	0	▲1,212	▲2,591	0	374
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	3,500	2,288	909	3,500	3,646
	B. 執行済額		2,976	1,821	909	2,671	3,646
	うち交付金充当額		2,381	1,456	726	2,137	2,917
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		85.0%	79.6%	100.0%	76.3%	100.0%
予算の状況の説明		特定重病患者等受診者の増に伴い、374千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	特定重病患者の検診助成の実施		目標 (助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
			実績	実施	実施	実施	
	専門医療従事者の招聘		目標 (助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
			実績	実施	実施	実施	
達成状況説明	事業制度の周知を図り、島内で受診対応出来ない、特定重病患者等の検診(56人/110回)に係る医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。 また、専門医療従事者を招聘(1人/12回)して相談・検診(55人/155回)を行うことにより、村民の心身の健康に関する不安を解消した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	渡航費支援が必要な人への支援率:100%		目標 ()	(100%)	(100%)	(100%)	()
			実績	100%	100%	100%	
	心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	100%	100%	100%	
	進捗状況説明	・支援が必要な方へ制度説明を行い、申請のあった方全てに対して支援を実施することができた。 ※支援率=(渡航支援した人)/(島外での診療が必要と診断された人) ・専門医療従事者による受診を要望する人へのアンケートを実施し、100%心身の健康に関する不安が解消されたと回答があった。					

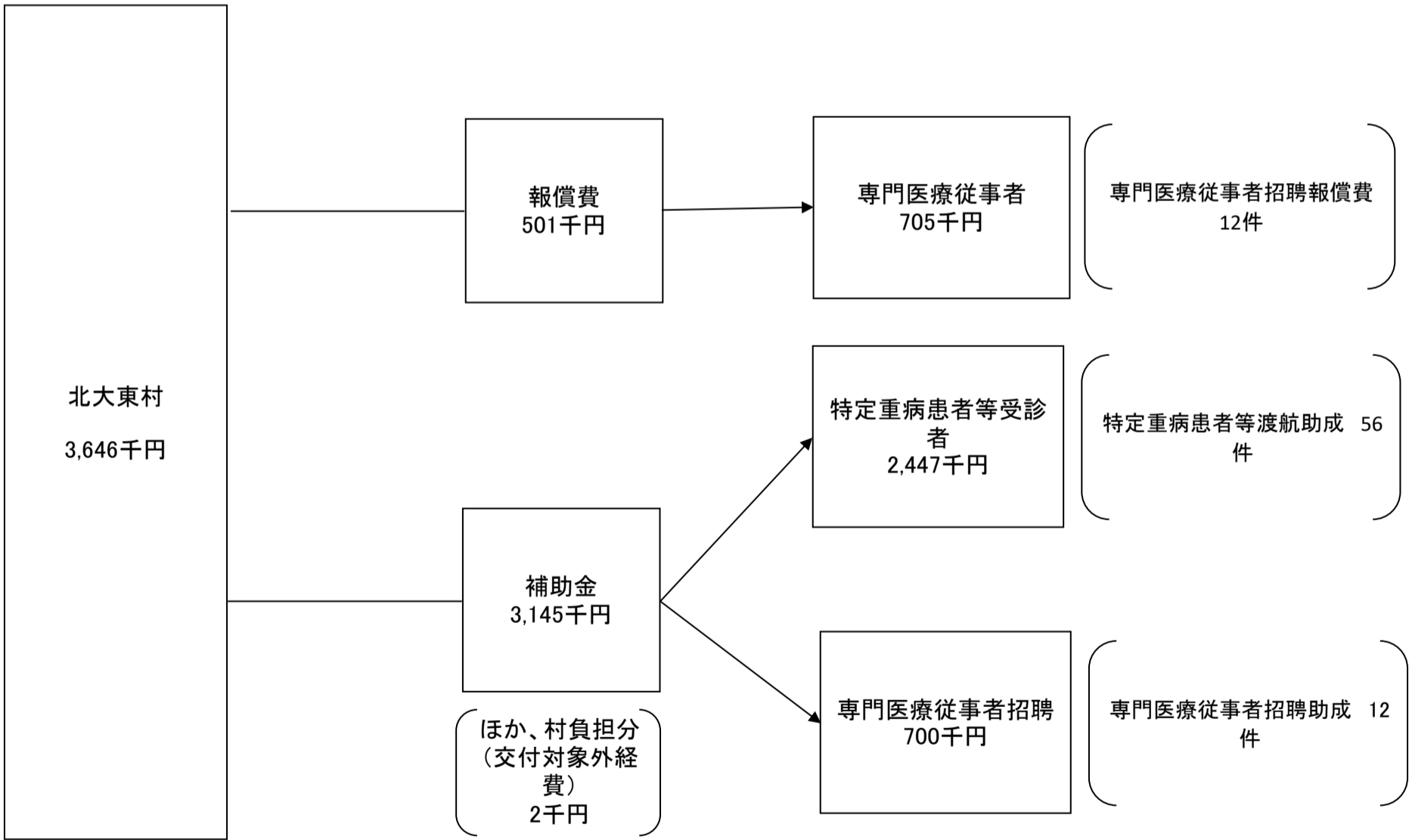
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	特定重病患者の検診助成制度が浸透してきたため、申請件数が前年比で約2倍増加したことにより、想定予算を上回った。	次年度も同様な事態が想定されるため、予算の増加を図り引き続き渡航費支援が必要な人へ支援できる環境を整える必要がある。

今後の取り組み方針

引き続き島民の要望等に沿えるような形で今後も心身の健康に関する不安を解消していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,648	3,646	2,917	729	2



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	北大東村景観形成事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」 における安全・安心で快適な観光の振興	
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	—	10,000	10,000	10,000	6,000
		(b) 予算現額	—	10,000	10,670	12,486	6,000
		(c) 増減額(b-a)	—	0	670	2,486	0
		(d) 繰越額	5,000	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	5,000	10,000	10,670	12,486	6,000
	B. 執行済額		4,730	9,845	10,670	12,452	5,940
	うち交付金充当額		3,784	7,876	8,536	9,961	4,752
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.6%	98.5%	100.0%	99.7%	99.0%
予算の状況の説明		不用額60千円については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	村一周海岸道路の植樹環境整備:300m		目標 (300m)	(300m)	(350m)	(300m)	
			実績	300m	300m	350m	300m
	過年度実施箇所の給水		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実績	実施	実施	未実施	未実施
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備と合わせて、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境に整備することにより観光誘客を図る。今年度は江崎港周辺の景観形成の環境整備を行った。過年度実施箇所の給水については企業努力によって実施されており、本交付金の活用はないため未実施となった。全長9,000m 進捗率47.78%						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	村一周海岸道路の植樹環境整備 植樹工事等の完了:350m		目標 ()	(300m)	(350m)	(300m)	()
			実績	300m	350m	300m	
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	83%	88%	82%	
	進捗状況説明	・景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いの燐鉱山遺跡周辺(300m)整備を行った。これまでの整備実績は4,300mとなっており全体(9,000m)の47.78%の整備が完了している。 ・観光客等へのアンケートを実施し、82%の方から魅力的な景観形成が図られたと回答があった。					

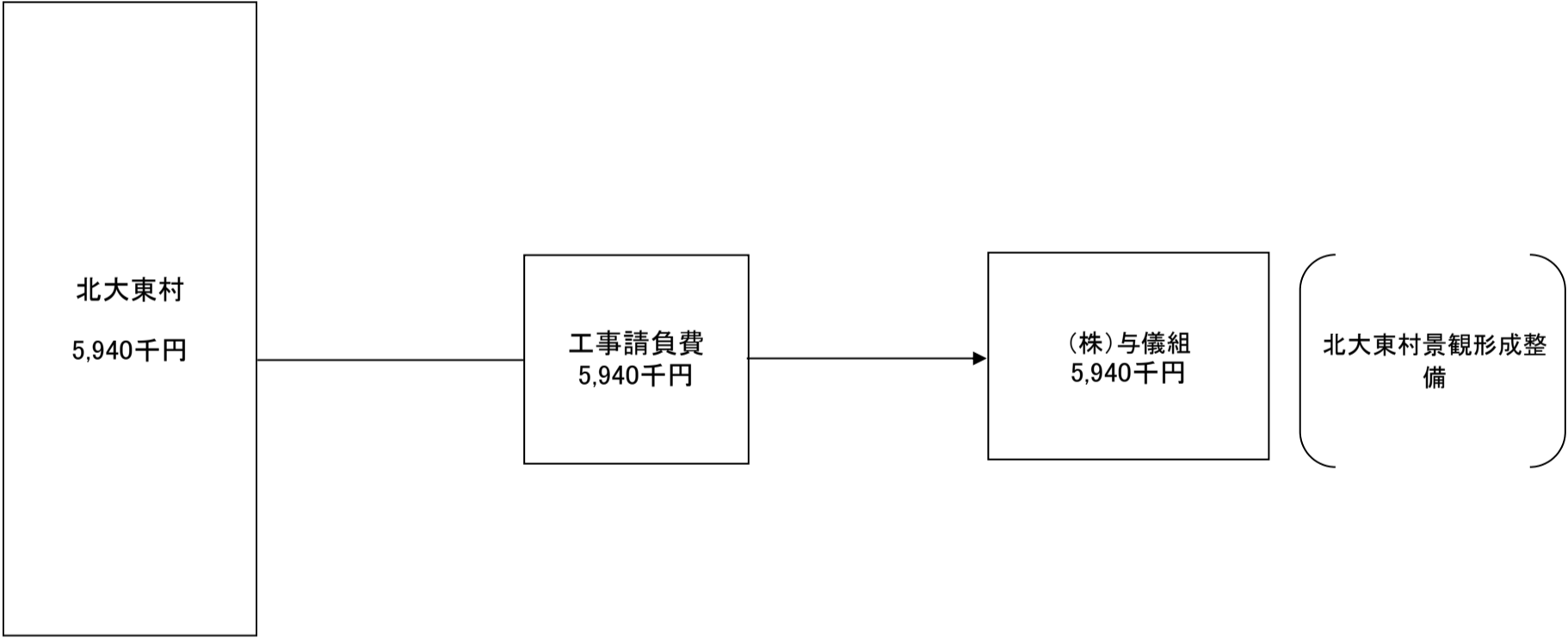
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文化的景観地区である、大東ピラミッド付近から北港の間のギンネム等の雑草が景観を悪くしていることが課題となった。	島の観光資源であり文化的景観地区でもある大東ピラミッド付近から北港の景観形成を行うことが更なる観光誘客に必要と考える。

今後の取り組み方針

既存の岩礁や風景などを活かしつつ、島の観光資源であり文化的景観地区でもある大東ピラミッド付近の植樹・景観形成整備を実施し更なる観光誘客に繋げる。また、整備対象は全長9,000mであり、令和13年度の整備完了を目標としており、平成26年度から計4,300mを整備済みであり、進捗率については、47.78%となっていることから引き続き整備を行い、観光景観の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,940	5,940	4,752	1,188	0



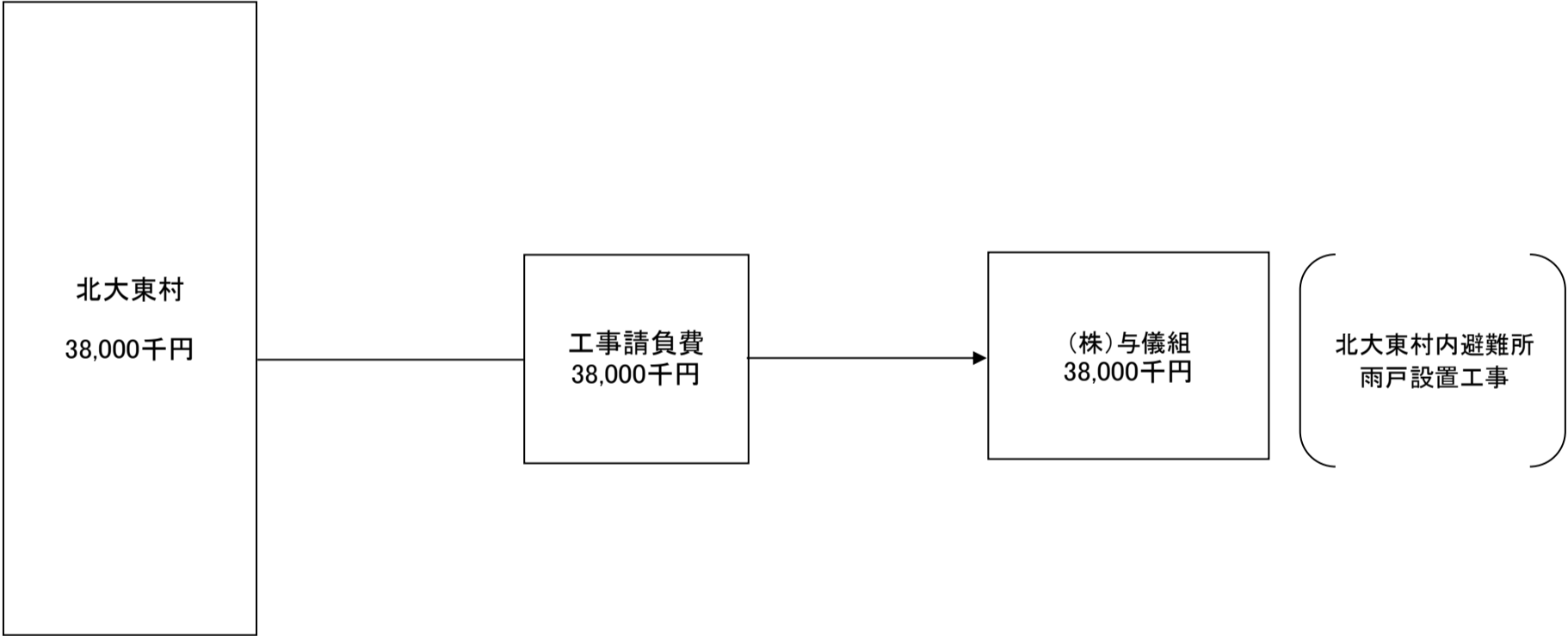
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-① 避難所強化事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所					
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度 令和4～5年度					
		沖縄振興基本方針 該当箇所					
事業内容	避難所の機能強化を図り災害発生時の安全性の確保を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	年度	年度	年度	年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	38,000				
		(b) 予算現額	38,000				
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	38,000	0	0	0	0
		B. 執行済額	38,000				
		うち交付金充当額	30,399				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	事業計画通り、執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R4年度	年度	年度	年度	
	各種避難所の雨戸設置及び、各公民館のシャワー室整備	目標	(整備)	()	()	()	
		実績	一部整備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和4年度は、資材価格の高騰等により、目標としていた避難所の一部の雨戸設置が完了した。シャワー室の整備については利用者の要望により簡易のもので対応ができなくなったことにより未整備となっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	年度	年度	目標値(年度)
	避難所の安全性が向上されたか(80%以上)を含め、避難所利用者等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		83%			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・避難所利用者等へのアンケートを実施し、83%の方から避難所の安全性が向上されたと回答があった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	大型台風が通過しやすい地域となっているため、早めの雨戸整備が必要である。	大型台風に備えて早急に避難所を強化する必要がある。
今後の取り組み方針		
大型台風の被害を抑えるためにも、速やかに施行する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
38,000	38,000	30,399	7,601	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は一般競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	